消化 01：オリエンテーション、消化器、腹壁、腹膜の構造と機能(1)

日時：8 月 31 日（月） 5 時限

担当者：水野 卓(消化器内科・肝臓内科)　　加藤 真吾(総セ 消化器・肝臓内科)

内容：

1. 歯、舌、唾液腺、口蓋、扁桃、耳管、上・中・下咽頭について解剖・組織・発生・生理について理解し、説明できる。
2. ★D-7-1 歯、舌、唾液腺の構造と機能を説明できる。
3. 唾液腺から分泌される消化酵素について説明できる。
4. 咬合、咀嚼(そしゃく)、消化、食塊形成、唾液についてその解剖・組織・発生・生理について理解し、説明できる。
5. ★D-7-1 咀しゃくと嚥下の機構を説明できる。
6. 嚥下についてその解剖・組織・発生・生理について理解し、説明できる。
7. 嚥下困難の病態生理を理解し、説明できる。

キーワード：

歯、舌、上・中・下咽頭、口蓋垂、披裂軟骨、梨状窩、アミラーゼ、顎下腺、耳下腺、舌下腺、嚥下困難

歯、舌、唾液腺、咀しゃく、嚥下

歯、舌、唾液腺、口蓋、扁桃、耳管、上・中・下咽頭、咬合、咀しゃく、消化、食塊形成、唾液、摂食機能、口腔環境、嚥下、嚥下機能

教科書：

◆ 内科学第 11 版（朝倉書店）p79-p81

予習：

消化器、腹壁、腹膜の構造と機能、歯、舌、唾液腺、口蓋、扁桃、耳管、上・中・下咽頭、咬合、咀しゃく、消化、食塊形成、唾液、嚥下の概要(20 分)

内科学第 11 版（朝倉書店）p79-p81 を予習しておくこと。

2 年までに履修した解剖学・組織学・生理学・生化学・発生学の消化管部分の復習。

復習：

消化器、腹壁、腹膜の構造と機能について A4 半ページから 1 ページ以内でまとめる（20 分）

消化 02：消化器、腹壁、腹膜の構造と機能(2)

日時：9 月 3 日（木） 4 時限

担当者：加藤 真吾(総セ 消化器・肝臓内科)

内容：

1. ★D-7-1 各消化器官の位置、形態と関係する血管を図示できる。
2. 消化器脈管系について動脈・静脈・門脈・リンパ管の構造について理解し、説明できる。
3. 胎生期の前腸・中腸・後腸が出生後のどの消化器に相当するかを説明でき、血管支配との関連について理解し、説明できる。
4. ★D-7-1 食道・胃・小腸・大腸の基本構造と部位による違いを説明できる。
5. 消化管壁の構造について粘膜層・粘膜筋板・粘膜下層・平滑筋層・漿膜(外膜)のそれぞれについて解剖学的・生理学的に理解し、説明できる。
6. 消化管の筋組織について説明でき、神経支配についても説明できる。
7. 腹壁の筋肉・筋膜について解剖学的構造を理解し、説明できる。
8. 腹腔を説明でき、臓側腹膜と壁側腹膜の違いを理解し、説明できる。
9. ★D-7-1 腹膜と臓器の関係を説明できる。
10. ★D-7-1 消化器官に対する自律神経の作用を説明できる。
11. 消化管運動についてそのしくみを理解し、説明できる。
12. ★D-7-1 消化管運動の仕組みを説明できる。

13. 三大栄養素の消化・吸収について理解し、説明できる。
14. 水分の消化管における出納を理解し、説明できる。
15. 微量元素やビタミンの吸収のしくみを理解し、説明できる。
16. ★D-7-1 小腸における消化・吸収の仕組みを説明できる。

キーワード：

前腸,中腸,後腸, 腹腔動脈,上腸間膜動脈,下腸管膜動脈,Meissner 神経叢,Auerbach 神経叢,下部食道括約部, 胃酸分泌機構,後腹膜臓器,Treiz 靱帯,消化管ホルモン, 臓側腹膜，壁側腹膜，Douglas 窩，直腸膀胱窩，微絨毛，消化酵素，アミラーゼ,ペプシン,ラクターゼ,トリプシン,膜消化,膜吸収,胆汁酸,ミセル,内因子
消化器官、食道、胃、小腸、大腸、自律神経、腹壁、筋肉・筋膜、神経系、腹腔内臓器、腹膜、後腹膜臓器、消化管運動、小腸、消化・吸収
消化管壁、脈管系、門脈系、上腸間膜血管、神経系、消化管運動、食道内圧、胃腸反射

予習：

消化器、腹壁、腹膜の構造と機能、消化管壁の構造、脈管系、神経系、腹壁の筋肉・筋膜、神経系、腹腔内臓器、消化管運動、消化管の消化・吸収の概要(20 分)
2 年までに履修した解剖学・組織学・生理学・生化学・発生学の消化管部分の復習

復習：

消化器、腹壁、腹膜の構造と機能について A4 半ページから 1 ページ以内でまとめる（20 分）

消化 03：消化器、腹壁、腹膜の構造と機能(3)

日時：9 月 3 日（木） 5 時限
担当者：加藤　真吾(総セ 消化器・肝臓内科)
内容：

1. 胃液の分泌についてし、説明できる。
2. ★D-7-1 胃液の作用と分泌機序を説明できる。
3. 消化管生理活性物質について主なものを理解し、説明できる。
4. ★D-7-1 主な消化管ホルモンの作用を説明できる。
5. 食欲に関係する消化管ホルモンや他のしくみについて理解し、説明できる。
6. 消化管の免疫についてそのしくみを理解し、説明できる。
7. 排便機能についてそのしくみを理解し、説明できる。
8. ★D-7-1 大腸における糞便形成と排便の仕組みを説明できる。
9. D-7-1 消化管の正常細菌叢（腸内細菌叢）の役割を説明できる。
10. 消化管機能検査を列挙し、それぞれの検査の目的、方法、結果の解釈について説明できる。

キーワード：

胃酸分泌機構,最大酸分泌量（MAO），基礎酸分泌量（BAO），消化管ホルモン, 蠕動運動、肛門括約筋、ガストリン、セクレチン、グルカゴン、CCK-PZ、ソマトスタチン、グレリン、セロトニン、排便機能、直腸肛門反射、唾液分泌検査、消化管運動機能検査、食道内圧検査、肛門内圧検査、pH モニタリング、タンパク漏出試験、α1-アンチトリプシン法、ペプシノゲン測定
胃液、分泌、消化管ホルモン、大腸、糞便形成、排便、消化管、正常細菌叢（腸内細菌叢）
消化管、消化・吸収、胃液、分泌、消化管生理活性物質、消化管ホルモン、増殖因子、免疫、腸内細菌叢、排便機能、直腸肛門反射、唾液分泌検査、消化管運動機能検査、食道内圧検査、肛門内圧検査、pH モニタリング、タンパク漏出試験、α1-アンチトリプシン法、ガストリン・ペプシノゲン測定

教科書：

◆ 内科学第 11 版（朝倉書店）p882-p888

予習：

消化器、腹壁、腹膜の構造と機能、消化管の消化・吸収、胃液の分泌、消化管生理活性物質、消化管ホルモン、消化管の免疫、排便機能、消化管機能検査の概要(20 分)
内科学第 11 版（朝倉書店）p882-p888 を予習しておくこと。

復習：
消化器、腹壁、腹膜の構造と機能について A4 半ページから 1 ページ以内でまとめる（20 分）

消化 04：消化器系疾患特有の症候と病態(2)

日時：9 月 14 日（月） 6 時限
担当者：岡 政志(総セ 消化器・肝臓内科)
内容：
腹痛
1. ★D-7-3-2 腹痛について 3 種類の痛みの種類を理解し、説明できる。
2. 内臓痛についてしくみを理解し、説明できる。
3. 体性痛についてしくみを理解し、説明できる。
4. 関連痛についてしくみを理解し、説明できる。
5. 腹膜刺激症状(筋性防御・反跳痛)についてしくみを理解し、説明できる。
6. 腹痛の部位の 9 領域とその原因となる疾患について理解し、説明できる。
7. 下痢についてそのしくみを理解し、説明できる。
8. ★D-7-3-2 血便についてその機序と検査法・治療法を理解し、説明できる。
9. 腹部単純 X 線写真について読影できる。

消化管出血
1. 吐血・喀血・下血・血便の違いについて理解し、説明できる。
2. 上部消化管出血の主な原因となる疾患について理解し、説明できる。
3. 下部消化管出血の主な原因となる疾患について理解し、説明できる。
4. 出血の程度に応じた治療について、理解し、説明できる。

キーワード：
腹部診察における 9 領域，視診，聴診，打診，触診，仙痛，鈍痛，急性腹症，急性虫垂炎，内臓痛、体性痛、関連痛、腹膜刺激症状、筋性防御、反跳痛、Blumberg 徴候，McBurney 点，Lanz 点
腹痛、便秘、下痢
吐血、下血、血便、出血性ショック

教科書：
◆ 内科学第 12 版（朝倉書店）6-2-4、6-2-5

予習：
消化器系疾患特有の症候と病態、内臓痛、体性痛、関連痛、筋性防御、反跳痛、便秘・下痢の概要(20 分)
内科学第 11 版（朝倉書店）p199-p203、p203-207 を予習しておくこと。

復習：
消化器系疾患特有の症候と病態について A4 半ページから 1 ページ以内でまとめる（20 分）

消化 05：消化器系疾患特有の症候と病態(1)

日時：9 月 7 日（月） 4 時限
担当者：眞下 由美(国セ 消化器内科)
内容：
1. ★D-7-3-2 食思(欲)不振について理解し、説明できる。
2. 嚥下痛について理解し、説明できる。
3. 通過障害について理解し、説明できる。
4. 胸やけ、呑酸について理解し、説明できる。
5. 悪心、嘔吐について理解し、説明できる。
6. ★D-7-3-2 悪心・嘔吐について理解し、説明できる。
7. 吐血について理解し、説明できる。

8. ★D-7-3-2 吐血・下血について理解し、説明できる。
9. 下血について理解し、説明できる。

キーワード：

食思(欲)不振、悪心・嘔吐、吐血、下血
嚥下痛、通過障害、胸やけ、呑酸、悪心、嘔吐

教科書：

◆ 医学書院内科診断学第 3 版 p376，419-423，408-400-407，393-399，424-431，591-597

予習：

教科書を用いて、消化器系疾患特有の症候と病態、嚥下痛、通過障害、胸やけ、呑酸、悪心、嘔吐、吐血・下血の概要について調べる(20 分)

復習：

消化器系疾患特有の症候と病態について A4 半ページから 1 ページ以内でまとめる（20 分）

消化 06：内視鏡治療

日時：9 月 7 日（月） 5 時限

担当者：眞下　由美(国セ 消化器内科)

内容：

1. 内視鏡的止血、凝固、結紮、クリッピングについて説明できる。
2. ★D-7-2 消化器内視鏡検査から得られる情報を説明できる。
3. 食道静脈瘤に対する硬化療法について理解し、説明できる。
4. ★D-7-2 内視鏡生検の意義と適応を説明できる。
5. 内視鏡的粘膜切除、内視鏡的粘膜下層剥離術について理解し、説明できる。
6. 内視鏡的拡張術、ステント留置について理解し、説明できる。
7. 内視鏡的異物除去術について理解し、説明できる。
8. 内視鏡下手術について理解し、説明できる。

キーワード：

消化器内視鏡検査、生検
止血、凝固、結紮、クリッピング、硬化療法、切開、切除、拡張、ステント留置｛術｝、異物除去術、内視鏡下手術

教科書：

◆ 内科学第 11 版（朝倉書店）p871-1029

参考書：

◆ 医学書院内科診断学第 3 版 p424-431， 591-597

予習：

教科書を用いて内視鏡治療、止血、凝固、結紮、クリッピング、硬化療法、切開、切除、拡張、ステント留置術、照射、異物除去術、内視鏡下手術の概要について調べる(20 分)

復習：

内視鏡治療について A4 半ページから 1 ページ以内でまとめる（20 分）

消化 07：消化器系作用薬の薬理（1）

日時：9 月 10 日（木） 1 時限

担当者：淡路　健雄(薬理学)

内容：

消化器疾患の薬物治療の概説（1）

1. ★PS-02-08-01：消化器の生理機能と病態を概説できる。
2. ★PS-02-08-04：消化器疾患の薬物治療の原則を概説できる。

3. ★CS-02-04-04：消化器系疾患の治療薬の有害作用を概説できる。

キーワード：
胃液の分泌機序、消化管運動、消化管ホルモン、薬物性肝障害
自律神経作動薬

教科書：
◆ 内科学（朝倉書店）第 11 版

参考書：
◆ FLASH 薬理学改訂版

予習：
FLASH 薬理学改訂版の該当章を読む。

復習：
消化器疾患の生理機能と病態について、A4 数ページ以内でまとめる（20 分）

消化 08：消化器系作用薬の薬理（2）

日時：9 月 10 日（木）　2 時限

担当者：淡路　健雄(薬理学)

内容：
消化器疾患の薬物治療の概説（2）

1. ★PS-02-08-04：消化管潰瘍治療薬を概説できる。
2. ★PS-02-08-04：機能性消化管障害治療薬を概説できる。
3. ★PS-02-08-04：胃食道逆流症治療薬を概説できる。
4. ★PS-02-08-04：炎症性腸疾患治療薬を概説できる。

キーワード：
胃腸炎、機能性消化管障害
胃食道逆流症、逆流性食道炎、非びらん性胃食道逆流症、機能性ディスペプシア、消化性潰瘍（胃潰瘍、十二指腸潰）、ヘリコバクター・ピロリ感染症、便秘症、過敏性腸症候群、偽膜性腸炎、潰瘍性大腸炎、Crohn 病

教科書：
◆ 内科学（朝倉書店）第 11 版

参考書：
◆ FLASH 薬理学改訂版

予習：
FLASH 薬理学改訂版の該当章を読む。

復習：
消化管疾患の薬物療法について、A4 数ページでまとめる（20 分）

消化 09：消化器系作用薬の薬理（3）

日時：9 月 10 日（木）　3 時限

担当者：淡路　健雄(薬理学)

内容：
消化器疾患の薬物治療の概説（3）

1. ★PS-02-08-04：ウイルス性肝炎治療薬を概説できる。
2. ★PS-02-08-04：アルコール性肝炎治療薬を概説できる。
3. ★PS-02-08-04：胆嚢疾患治療薬を概説できる。
4. ★PS-02-08-04：膵疾患治療薬を概説できる。

キーワード：

B 型肝炎ウイルス、C 型肝炎ウイルス
肝炎、アルコール性肝障害、脂肪肝、胆石症、急性膵炎、慢性膵炎

教科書：

◆ 内科学（朝倉書店）第 11 版

参考書：

◆ FLASH 薬理学改訂版

予習：

FLASH 薬理学改訂版の該当章を読む。

復習：

肝・胆道・膵疾患の薬物療法について、A4 数ページでまとめる（20 分）

消化 10：食道疾患

日時：9 月 14 日（月）　2 時限

担当者：今井　幸紀(消化器内科・肝臓内科)

内容：

1. 食道アカラシアの病態、症候、診断と治療について理解し、説明できる。
2. 胃食道逆流症＜ GERD ＞について理解し、説明できる。
3. 逆流性食道炎の病態生理、症候と診断を説明できる。
4. 非びらん性胃食道逆流症＜ NERD ＞について理解し、説明できる。

キーワード：

LES、逆流性食道炎、Barrett 食道、pH モニタリング、ロサンゼルス分類
胃食道逆流症＜ GERD ＞、非びらん性胃食道逆流症＜ NERD ＞、Barrett 上皮
食道アカラシア、嚥下障害、bird beak sign

教科書：

◆ 内科学（朝倉書店）第 12 版　pⅢ30-35, pⅢ42-44

参考書：

◆ 内科診断学（医学書院）第 3 版 p408-412,　p419-423

予習：

食道アカラシア、逆流性食道炎について、上記教科書を読んでくる(20 分)

復習：

食道アカラシア、逆流性食道炎について A4 半ページから 1 ページ以内でまとめる（20 分）

消化 11：食道静脈瘤

日時：9 月 14 日（月）　3 時限

担当者：今井　幸紀(消化器内科・肝臓内科)

内容：

1. 食道静脈瘤の病態、症候、診断と治療について理解し、説明できる。
2. Mallory-Weiss 症候群の病態、症候、診断と治療について理解し、説明できる。
3. 食道穿孔・破裂についての病態、症候、診断と治療について理解し、説明できる
4. 食道憩室について理解し、説明できる。

キーワード：

食道・胃静脈瘤、内視鏡分類、Red color sign、EVL、EIS、SB チューブ
Mallory-Weiss 症候群、食道穿孔・破裂、Boerrhaave、Mackler の三徴
Zenker 憩室

教科書：

◆ 内科学（朝倉書店）第 12 版　pⅢ29-30, pⅢ41, pⅢ44-49

参考書：

◆ 内科診断学（医学書院）第 3 版 p424-431

予習：

食道静脈瘤、Mallory-Weiss 症候群、食道穿孔・破裂、食道憩室について、上記教科書を読んでくる(20 分)

復習：

食道静脈瘤、Mallory-Weiss 症候群について A4 半ページから 1 ページ以内でまとめる（20 分）

消化 12：食道癌

日時：9 月 15 日（火） 5 時限

担当者：佐藤　弘(国セ 消化器外科)

内容：

1. 食道癌について診断し、治療方法を説明できる。
2. ★D-7-4-8 食道癌の病理所見、肉眼分類と進行度分類を説明できる。
3. ★D-7-4-8 食道癌の症候、診断、治療と予後を説明できる。

キーワード：

食道癌
食道癌

教科書：

◆ 教科書名　標準外科学　第 14 版　医学書院（出版社名）p447-p458

参考書：

◆ 医学書院内科診断学第 3 版　嚥下困難 p419-P423

備考：

食道癌の疫学、診断、治療について、明確に説明できるようにする。授業はこの目標に留意して行う。

予習：

食道癌の概要について、標準外科学第 14 版医学書院（出版社名）を熟読し、疫学・病態・治療の各項目を説明できるようにする(40 分)

復習：

授業内容を基に、食道癌についての疫学・病態・治療方法を A41 ページ以内で、各項目についてポイントを列挙する（20 分）

消化 13：胃十二指腸の形態・機能異常、消化管憩室

日時：9 月 17 日（木） 5 時限

担当者：都築　義和(消化管内科)

内容：

1. 上腸間膜動脈性十二指腸閉塞症＜上腸間膜動脈症候群＞の病態、診断、治療を説明できる。
2. ★D-7-4-3 上腸間膜動脈閉塞症を概説できる。
3. 機能性ディスペプシア＜ FD ＞の病態、診断、治療を説明できる。
4. ★D-7-4-2 機能性消化管障害（機能性ディスペプシア(functional dyspepsia ＜ FD ＞)）を説明できる。
5. 胃切除後症候群の病態、診断、治療を説明できる。
6. ★D-7-4-2 胃切除後症候群の病態生理を説明できる。
7. 食道憩室、胃憩室、十二指腸憩室、Meckel 憩室、大腸憩室の成因、症候、治療を説明できる。
8. ★D-7-4-3 腸管憩室症（大腸憩室炎と大腸憩室出血）を概説できる。

キーワード：

上腸間膜動脈性十二指腸閉塞症、上腸間膜動脈症候群、機能性ディスペプシア、胃切除後症候群、ダンピング症候群、食道憩室、胃憩室、十二指腸憩室、Meckel 憩室、大腸憩室、大腸憩室炎、大腸憩室出血

上腸間膜動脈閉塞症、機能性消化管障害、機能性ディスペプシア(functional dyspepsia ＜ FD ＞)、胃切除後症候群、腸管憩室症、大腸憩室炎、大腸憩室出血
上腸間膜動脈性十二指腸閉塞症＜上腸間膜動脈症候群＞、機能性ディスペプシア＜ FD ＞、胃切除後症候群、ダンピング症候群、胃憩室、十二指腸憩室、Meckel 憩室、大腸憩室、憩室炎、憩室出血

教科書：

◆ 内科学(朝倉書店)(第 11 版) p919-p920，p922-p925，p949-p951，p1010-p1012

予習：

上腸間膜動脈性十二指腸閉塞症＜上腸間膜動脈症候群＞：内科学(朝倉書店)(第 11 版)p919-p920、機能性ディスペプシア＜ FD ＞：内科学(朝倉書店)(第 11 版)p922-p925、胃切除後症候群：内科学(朝倉書店)(第 11 版)p949-p951、食道憩室・胃憩室・十二指腸憩室・Meckel 憩室・大腸憩室：内科学(朝倉書店)(第 11 版)p1010-p1012 の概要 (30 分)

復習：

復習：胃十二指腸の形態・機能異常について A4 半ページから 1 ページ以内でまとめる（20 分）

消化 14：急性胃炎・慢性胃炎

日時：9 月 24 日（木） 1 時限

担当者：岡　政志(総セ 消化器・肝臓内科)

内容：

1. 急性胃炎、急性胃粘膜病変について原因・診断・治療法について理解し、説明できる。
2. ★D-7-4-2 急性胃粘膜病変の概念、診断と治療を説明できる。
3. 慢性胃炎について原因・診断・治療法について理解し、説明できる。
4. 慢性胃炎から胃発がんへの病態生理について理解し、説明できる。
5. ★D-7-4-2 急性胃腸炎、慢性胃炎を概説できる。
6. *Helicobacter pylori* について、菌の特徴について理解し、説明できる。
7. *Helicobacter pylori* について、一次除菌療法と二次除菌療法について理解し、説明できる。
8. 胃アニサキス症について病態と診断・治療法について理解し、説明できる。
9. 自己免疫性胃炎(A 型胃炎)の病態と診断・治療法について理解し、説明できる。

キーワード：

Helicobacter pylori，急性胃粘膜病変，慢性胃炎，メネトリエ病， A 型胃炎
急性胃粘膜病変、急性胃腸炎、慢性胃炎、胃アニサキス症
胃アニサキス症、急性胃炎、急性胃粘膜病変、慢性胃炎、萎縮性胃炎、自己免疫性胃炎（A 型胃炎）

教科書：

◆ 内科学第 12 版（朝倉書店）11-4-2、11-4-3

予習：

胃アニサキス症、急性胃炎、急性胃粘膜病変、慢性胃炎の概要(20 分)
内科学第 11 版（朝倉書店）p356，p920- 925 を予習しておくこと。

復習：

急性胃炎について A4 半ページから 1 ページ以内でまとめる（20 分）

消化 15：消化性潰瘍

日時：9 月 24 日（木） 2 時限

担当者：岡　政志(総セ 消化器・肝臓内科)

内容：

1. 消化性潰瘍(胃潰瘍、十二指腸潰瘍)について病因、症候、進行度分類、画像診断と治療を説明できる。
2. 良性潰瘍と悪性の胃癌による潰瘍の画像診断で鑑別することができる。

3. ★D-7-4-2 胃潰瘍、十二指腸潰瘍(消化性潰瘍) の病因、症候、進行度分類、診断と治療を説明できる。
4. 抗潰瘍薬の種類と作用機序を説明できる。
5. ストレスによる消化性潰瘍を説明できる。
6. *Helicobacter pylori* の細菌学的特徴を理解し、説明できる。
7. *Helicobacter pylori* 感染症の診断・治療法について理解し、説明できる。
8. ★D-7-4-2 *Helicobacter pylori* 感染症の診断と治療を説明できる。

キーワード：

Helicobacter pylori， NSAID，UL-I，II，III，IV，攻撃因子，保護因子，バランス説，ニッシェ， タッシェ，プロトンポンプ阻害薬，カリウム競合型プロトンポンプ阻害薬、H2 blocker，粘膜保護薬，除菌治療，Zollinger-Ellison 症候群， Curling 潰瘍，Cushing 潰瘍，Cox 1，Cox 2，Cox 2 選択的阻害薬，進行癌の Borrmann 分類，早期胃癌の日本消化器内視鏡学会分類，歯蝕像，ひだ集中像、ウレアーゼ，アンモニア，CAG A、*Helicobacter pylori* 培養法，ギムザ染色，抗体検査，便中 *Helicobacter pylori* 抗原検査，尿素呼気試験， MALT リンパ腫，1 次除菌，2 次除菌，耐性菌

胃潰瘍、十二指腸潰瘍(消化性潰瘍)、 *Helicobacter pylori* 感染症

消化性潰瘍(胃潰瘍、十二指腸潰瘍)、ヘリコバクター・ピロリ感染症

教科書：

◆ 内科学第 12 版（朝倉書店）11-4-6、11-4-8

予習：

慢性胃炎、消化性潰瘍(胃潰瘍、十二指腸潰瘍)、ヘリコバクター・ピロリ感染症の概要(20 分)

内科学第 11 版（朝倉書店）p273-276，p927-p932 を予習しておくこと。

復習：

消化性潰瘍について A4 半ページから 1 ページ以内でまとめる（20 分）

消化 16：消化管腫瘍

日時：9 月 28 日（月） 1 時限

担当者：眞下　由美(国セ 消化器内科)

内容：

1. 消化管神経内分泌腫瘍について理解し、説明できる。
2. ★D-7-4-3 消化管神経内分泌腫瘍(neuroendocrine tumor ＜ NET ＞)を概説できる。
3. 悪性リンパ腫について理解し、説明できる。
4. 消化管粘膜下腫瘍＜ SMT ＞ #gastrointestinal stromal tumor ＜ GIST ＞、筋腫、脂肪腫、血管腫について理解し、説明できる。
5. ★D-7-4-3 消化管間質腫瘍(gastrointestinal stromal tumor ＜ GIST ＞)を概説できる。
6. 消化管ポリポーシスについて理解し、説明できる。

キーワード：

消化管神経内分泌腫瘍(neuroendocrine tumor ＜ NET ＞)、消化管間質腫瘍(gastrointestinal stromal tumor ＜ GIST ＞)

消化管神経内分泌腫瘍、消化管カルチノイド[Neuroendocrine tumor ＜ NET ＞]、悪性リンパ腫、粘膜関連リンパ組織＜ MALT ＞リンパ腫、消化管粘膜下腫瘍＜ SMT ＞、gastrointestinal stromal tumor ＜ GIST ＞、筋腫、脂肪腫、血管腫、消化管ポリポーシス、家族性腺腫性ポリポーシス＜ FAP ＞、Turcot 症候群、Peutz-Jeghers 症候群、Gardner 症候群

教科書：

◆ 内科学(朝倉書店)第 11 版　p941-p946 p1006-P1009

参考書：

◆ 医学書院内科診断学第 3 版 p237， 393， 400， 424， 544， 549， 554， 576， 591

予習：
消化管腫瘍、消化管神経内分泌腫瘍、悪性リンパ腫、消化管粘膜下腫瘍＜ SMT ＞、消化管ポリポーシスの概要(20 分)
復習：
消化管腫瘍について A4 半ページから 1 ページ以内でまとめる（20 分）

消化 17：胃癌総論

日時：9 月 28 日（月） 2 時限
担当者：眞下　由美(国セ 消化器内科)
内容：
1. 胃癌について理解し、説明できる。
2. ★D-7-4-8 胃癌の診断法を列挙し、所見とその意義を説明できる。
3. ★D-7-4-8 胃癌の疫学、病理所見、症候、肉眼分類と進行度分類を説明できる。

キーワード：
胃癌
胃癌、スキルス型胃癌
教科書：
◆ 朝倉書店　内科学第 11 版　p934-p941
参考書：
◆ 医学書院　内科診断学第 3 版　p226，237，393，400，408，424，444，558
予習：
胃癌の概要(20 分) 朝倉書店内科学第 11 版 医学書院内科診断学第 3 版
復習：
胃癌について A4 半ページから 1 ページ以内でまとめる（20 分）

消化 18：胃癌の治療

日時：9 月 28 日（月） 3 時限
担当者：櫻本　信一(国セ 消化器外科)
内容：
胃癌の外科的治療について、適応と切除範囲、再建法を概説できる。
1. ★D-7-4-8 胃癌の進行度に応じた治療を概説できる。
2. ★D-7-4-2 胃切除後症候群の病態生理を説明できる。

キーワード：
早期胃癌、進行胃癌、胃切除後障害、胃切除術、胃全摘術、リンパ節郭清、術後合併症、胃切除後症候群、ダンピング症候群
D-7-4)-(2)⑥、E-3-5)各論⑦
教科書：
◆ 標準外科学　第 15 版（医学書院）p494-p498, p506-p521
参考書：
◆ 胃癌取扱い規約　第 15 版（金原出版）
◆ 胃癌治療ガイドライン 2018 年 1 月改訂第 5 版（日本胃癌学会編、金原出版）
予習：
胃癌の概要(20 分)　標準外科学（医学書院）
復習：
胃癌について A4 半ページから 1 ページ以内でまとめる（20 分）

消化 19：胃ポリープ・十二指腸腫瘍・好酸球性消化管障害

日時：9 月 29 日（火）　5 時限

担当者：今枝　博之(消化管内科)

内容：

1. 胃ポリープの成因、病理、肉眼分類、診断、治療を説明できる。
2. ★D-7-4-2 胃ポリープの病理と肉眼分類を説明できる。
3. 胃腺腫の成因、肉眼分類、診断、治療を説明できる。
4. 十二指腸腫瘍の病理、肉眼分類、診断、治療を説明できる。
5. ★D-7-4-8 乳頭部癌の病理所見、症候、診断と治療を説明できる。
6. 消化管アレルギー、好酸球性胃腸炎、好酸球性食道炎の病態、診断、治療を説明できる。

キーワード：

胃ポリープ、胃底腺ポリープ、過形成性ポリープ、胃腺腫、十二指腸腫瘍、十二指腸腺腫・癌、十二指腸乳頭部腫瘍、消化管アレルギー、好酸球性胃腸炎、好酸球性食道炎
胃ポリープ、乳頭部
胃ポリープ、胃底腺ポリープ、過形成性ポリープ、胃腺腫、十二指腸腫瘍、十二指腸腺腫・癌、十二指腸乳頭部腫瘍、消化管アレルギー、好酸球性胃腸炎、好酸球性食道炎

教科書：

◆ 内科学(朝倉書店)第 11 版　01-p903，p932-p934，p946-p948，p991-p992，p1173-p1175

予習：

胃ポリープ･胃腺腫:内科学(朝倉書店)(第 11 版)p932-p934、十二指腸腫瘍:内科学(朝倉書店)(第 11 版)p946-p948・p1173-p1175、消化管アレルギー・好酸球性胃腸炎:内科学(朝倉書店)(第 11 版)p991-p992、好酸球性食道炎:内科学(朝倉書店)(第 11 版)p901-p903 の概要(20 分)

復習：

胃ポリープについて A4 半ページから 1 ページ以内でまとめる（20 分）

消化 20：便秘・下痢症

日時：9 月 29 日（火）　6 時限

担当者：菅原　通子(消化器内科・肝臓内科)

内容：

便通異常の訴えから腸管の腫瘍、炎症性及び感染性の腸疾患が診断出来る。また、脳血管障害や神経障害、膠原病、内分泌系疾患等の部分症状として出現したり、内服薬の副作用として症状が見られる事もある。病態を考慮し、診断していく事が重要と考える。

1. 吸収不良症候群について病態を理解し、説明出来る。軟便、体重減少、食欲低下、腎障害の際に考慮するが、便内に蛋白が混在するかを検査すると、診断の助けとなる。
2. 便秘症について、器質性、および機能性の異常があることを理解し、採血検査・画像検査を行い、精査・診断していく。
3. 過敏性腸症候群について、病態を理解し、説明ができる。

キーワード：

便秘症、下痢症、機能性消化管障害
過敏性腸症候群、吸収不良症候群

教科書：

◆ 内科学第 12 版（朝倉書店）Ⅰ-P143～147、Ⅲ-P117～121、Ⅲ-P123～126

参考書：

◆ 内科診断学第 3 版（医学書院）P576-P590

予習：

便秘・下痢症、吸収不良症候群、過敏性腸症候群の概要（20 分間）

復習：
便秘・下痢症についてＡ４半ページから１ページ以内でまとめる（20 分間）

消化 21：急性虫垂炎

日時：10 月 1 日（木）　1 時限
担当者：淺野　博(消化器・一般外科)
内容：
1.★PS-02-08-05）　虫垂炎の病態を説明できる
2.★PS-02-08-04）虫垂炎の診断治療を説明できる
3.虫垂炎の鑑別診断を列挙できる
キーワード：
急性虫垂炎,McBurney 圧痛点,Lanz 圧痛点、
教科書：
◆ 標準外科学（医学書院）　p540-542
予習：
標準外科　P540-542（20 分）

消化 22：感染性腸炎

日時：10 月 2 日（金）　2 時限
担当者：戸叶　美枝子(感染症科・感染制御科)
内容：
1. 腸結核について病態を理解し、説明できる。
2. 感染性腸炎について分類し、説明できる。
3. ★PS-02-08-05 感染性腸炎を概説できる。
4. ★PS-02-08-05 薬物性腸炎について病態を理解し、説明できる。
5. ★PS-02-08-05 薬物性腸炎を概説できる。

キーワード：
感染性腸炎、薬物性腸炎
腸結核、感染性腸炎、感染性胃腸炎、感染性大腸炎、薬物性腸炎、偽膜性腸炎、出血性腸炎
教科書：
◆ 内科学（朝倉書店）第 12 版　pIII87-III92，pIII104
参考書：
◆ 内科診断学（医学書院）第 3 版　p576-p584
予習：
腸結核、感染性腸炎、薬物性腸炎 (20 分) 内科学(朝倉書店)(第 11 版) 医学書院内科診断学第 3 版
復習：
その他の腸疾患について A4 半ページから 1 ページ以内でまとめる（20 分）

消化 23：クローン病と潰瘍性大腸炎

日時：10 月 5 日（月）　1 時限
担当者：岡　政志(総セ 消化器・肝臓内科)
内容：
1. ★D-7-4-3 炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎・Crohn 病）の病態生理、症候、診断と治療を説明できる。
2. Crohn 病の疫学・病態生理・症候・病理・画像診断・治療法・予後について理解し、説明できる。

3. 潰瘍性大腸炎の疫学・病態生理・症候・病理・画像診断・治療法・予後について理解し、説明できる。

キーワード：

縦走潰瘍、skip lesion、cobblestone appearance、 連続性病変、crypt abscess、鉛管像、中毒性巨大結腸症、5-アミノサリチル酸(5-ASA)、ステロイド、抗 TNF-α 抗体製剤、免疫調節薬、アザチオプリン、免疫抑制薬、タクロリムス、JAK 阻害薬、腸内細菌

炎症性腸疾患、潰瘍性大腸炎、Crohn 病

Crohn 病、潰瘍性大腸炎

教科書：

◆ 内科学第 12 版（朝倉書店）11-5-4、11-5-5

予習：

クローン病と潰瘍性大腸炎の概要(20 分)

内科学第 11 版（朝倉書店）p959-p967 を予習しておくこと。

復習：

クローン病と潰瘍性大腸炎について A4 半ページから 1 ページ以内でまとめる（20 分）

消化 24：小腸・結腸癌

日時：10 月 5 日（月） 2 時限

担当者：平沼　知加志(国セ 消化器外科)

内容：

1. 小腸癌について〇〇し、説明できる。
2. 大腸ポリープ、大腸腺腫について〇〇し、説明できる。
3. ★D-7-4-3 消化管ポリポーシスを概説できる。
4. 結腸癌について〇〇し、説明できる。
5. ★D-7-4-8 大腸癌の病理所見、診断、肉眼分類と進行度分類を説明できる。
6. ★D-7-4-8 大腸癌の症候、診断、治療を説明できる。

キーワード：

消化管ポリポーシス、大腸癌

小腸癌、大腸ポリープ、大腸腺腫、結腸癌

教科書：

◆ 標準外科学（医学書院） p000

予習：

小腸・結腸癌、大腸ポリープ、大腸腺腫の概要(20 分)

復習：

小腸・結腸癌について A4 半ページから 1 ページ以内でまとめる（20 分）

消化 25：直腸癌

日時：10 月 5 日（月） 3 時限

担当者：石山　泰寛(国セ 消化器外科)

内容：

直腸癌について病態と治療法を理解し、説明できる。

1. 直腸・肛門の解剖について説明できる。
2. ★D-7-4-8 大腸癌の病理所見、診断、肉眼分類と進行度分類を説明できる。
3. ★D-7-4-8 大腸癌の症候、診断、治療を説明できる。
4. 肛門癌、肛門管癌について病態と治療法を理解説明できる。

キーワード：

大腸癌
直腸癌、肛門癌、肛門管癌

教科書：

◆ 医学書院　標準外科学（第 12 版）p559-p564，　p573-p580

参考書：

◆ 標準小児外科学(医学書院)(第 7 版)

予習：

直腸癌、肛門癌、肛門管癌の概要(20 分)

復習：

直腸癌について A4 半ページから 1 ページ以内でまとめる（20 分）

消化 26：直腸・肛門疾患

日時：10 月 6 日（火）　1 時限

担当者：椙田　浩文(国セ 消化器外科)

内容：

直腸および肛門の良性疾患について病態と治療法を理解し、説明できる。

1. 痔核について病態と治療法を理解し、説明できる。
2. 肛門周囲膿瘍、痔瘻について病態と治療法を理解し、説明できる。
3. ★D-7-4-3 痔核と痔瘻の病態生理、症候の違いについても説明できる。
4. 裂肛について病態と治療法を理解し、説明できる。
5. 直腸脱について病態と治療法を理解し、説明できる。
6. ★D-7-4-3 急性出血性直腸潰瘍を概説できる。

キーワード：

痔核、痔瘻、急性出血性直腸潰瘍
直腸脱、肛門周囲膿瘍、痔瘻、痔核、裂肛

教科書：

◆ 医学書院　標準外科学（第 12 版）p559-p573

参考書：

◆ 医学書院内科診断学第 3 版 p000-P111

予習：

直腸・肛門疾患、痔核、肛門周囲膿瘍、痔瘻、裂肛、直腸脱の概要(20 分)

復習：

復習：直腸・肛門疾患について A4 半ページから 1 ページ以内でまとめる（20 分）

消化 27：その他消化管疾患

日時：10 月 6 日（火）　2 時限

担当者：今枝　博之(消化管内科)

内容：

1. 消化管アミロイドーシスの成因、診断、治療を説明できる。
2. 虚血性小腸炎・大腸炎の病態、診断、治療を説明できる。
3. ★D-7-4-3 虚血性大腸炎を概説できる。
4. 血管形成異常＜ angiodysplasia ＞の病態、診断、治療を説明できる。
5. 胃前庭部毛細血管拡張症＜ GAVE ＞の病態、診断、治療を説明できる。
6. 抗血小板薬による粘膜障害の病態、診断、治療を説明できる。
7. 消化管 Behcet 病の病態、診断、治療を説明できる。
8. 放射線性腸炎の病態、診断、治療を説明できる。

キーワード：
消化管アミロイドーシス、虚血性小腸炎、虚血性大腸炎、血管形成異常＜ angiodysplasia ＞、胃前庭部毛細血管拡張症＜ GAVE ＞、抗血小板薬、消化管 Behcet 病、放射線性腸炎
虚血性大腸炎
消化管アミロイドーシス、虚血性小腸炎・大腸炎、血管形成異常＜ angiodysplasia ＞、胃前庭部毛細血管拡張症＜ GAVE ＞、抗血小板薬、粘膜障害、消化管 Behcet、放射線性腸炎

教科書：
◆ 内科学(朝倉書店)(第 11 版)　p926-p927，p957-p958，p971-p972，p1002-p1003，p1021-p1022，p1026-p1028

予習：
消化管アミロイドーシス:内科学(朝倉書店)(第 11 版)p1021-p1022、虚血性小腸炎・大腸炎:内科学(朝倉書店)(第 11 版)p971-p972、血管形成異常＜ angiodysplasia ＞:内科学(朝倉書店)(第 11 版)p1002-p1003、胃前庭部毛細血管拡張症＜ GAVE ＞:内科学(朝倉書店)(第 11 版)p926-p927、抗血小板薬による粘膜障害:内科学(朝倉書店)(第 11 版)p1026-p1028、消化管 Behcet:内科学(朝倉書店)(第 11 版)p957-p958、放射線性腸炎:内科学(朝倉書店)(第 11 版)p957 の概要(20 分)

復習：
その他消化管疾患について A4 半ページから 1 ページ以内でまとめる（20 分）

消化 28：消化管ヘルニア

日時：10 月 8 日（木）　1 時限
担当者：淺野　博(消化器・一般外科)
内容：
1.ヘルニアの概念、病態と好発部位を説明できる。
2.鼠径ヘルニアの病態と治療について説明できる。
3.食道裂孔ヘルニアヘルニアの病態と治療について説明できる。
4.腹壁ヘルニアの病態と治療について説明できる。

キーワード：
ヘルニア、嵌頓、鼠径部ヘルニア、食道裂孔ヘルニア、腹壁瘢痕ヘルニア

教科書：
◆ 標準外科学（医学書院）　P475-489

予習：
標準外科 P475-489（20 分）

消化 29：腹膜炎・腹膜中皮腫

日時：10 月 8 日（木）　2 時限
担当者：淺野　博(消化器・一般外科)
内容：
1.腹膜炎の原因を説明できる。
2.★PS-02-08-05）腹膜炎の診断について説明できる
3.腹膜炎の原因を列挙できる
4.★PS-02-08-04）腹膜炎の治療について説明できる
5.がん性腹膜炎について説明できる
6.腹膜中皮腫について説明できる

キーワード：
腹膜炎、腹膜中皮腫、腹膜偽粘液腫

教科書：
◆ 標準外科学（医学書院）
予習：
標準外科 P465-472（20 分）
復習：
腹膜疾患につき A4 一枚にまとめる（20 分）

消化 30：急性腹症(1)

日時：10 月 9 日（金） 2 時限
担当者：淺野 博(消化器・一般外科)
内容：
1.★PS-02-08-01）腸閉塞の病態を説明できる
2.腸閉塞の原因を列挙できる
3.★PS-02-08-04）腸閉塞の治療を説明できる
キーワード：
腸閉塞、単純性腸閉塞、絞扼性腸閉塞
教科書：
◆ 標準外科学（医学書院）
予習：
標準外科 P552-558（20 分）
復習：
イレウスについて A4 一枚にまとめる（20 分）

消化 31：急性腹症(2)

日時：10 月 9 日（金） 3 時限
担当者：淺野 博(消化器・一般外科)
内容：
1.★PS-02-08-02） 消化管穿孔について説明できる
2.消化管穿孔の原因疾患を列挙できる
3.★PS-02-08-04）消化管穿孔の治療について説明できる
キーワード：
消化管穿孔、腹膜炎、敗血症性ショック
教科書：
◆ 標準外科学（医学書院）
予習：
標準外科 P16-27 P472（20 分）

消化 32：腹部外傷

日時：10 月 15 日（木） 1 時限
担当者：淺野 博(消化器・一般外科)
内容：
1.鈍的外傷と鋭的外傷を説明できる
2.★PS-02-08-04）肝損傷の治療法について説明できる
3.★PS-02-08-04）脾損傷の治療について説明できる

4.★PS-02-08-04）膵損傷の治療について説明できる
5.★PS-03-05-12） ショックの治療について説明できる

キーワード：
腹部外傷、肝損傷、膵損傷、脾損傷、横隔膜損傷

教科書：
◆ 標準外科学（医学書院）

予習：
標準外科　P101-111（20 分）

消化 33：腹部単純 X 線と核医学

日時：10 月 15 日（木）　2 時限

担当者：松坂　陽至(国セ 核医学科)

内容：
★D-7-2-3 消化器系疾患の画像検査を列挙し、検査から得られる情報を説明できる。
腹部単純 X 線
1. 腹部単純 X 線の基本的撮影法を説明できる。
2. 正常の腹部単純 X 線写真に写る構造を説明できる。
3. 単純 X 線撮影で診断される重要な消化器疾患の所見を説明できる。

消化器の核医学検査
1. 消化器の核医学検査の原理を説明できる。
2. 消化器の核医学検査の主な放射性医薬品と適応疾患を列挙できる。
3. 消化器の核医学検査の主な所見を説明できる。

キーワード：
エックス線単純撮影、急性腹症、核医学検査（シンチグラフィ, SPECT, PET）
(D-7-2)消化器系疾患の画像検査を列挙し、その適応と異常所見を説明し、結果を解釈できる。胃・十二指腸疾患、小腸・大腸疾患、胆道疾患、肝疾患、膵臓疾患、腹膜・腹壁・横隔膜疾患、腫瘍性疾患。

教科書：
◆ 標準放射線医学　第 7 版（医学書院）p.328、p.331-333、p.338-340、p.388-392（単純 X 線に関する部分のみ)、p671-p682 内科学 第 11 版（朝倉書店)、p880-881

参考書：
◆ 新核医学テキスト,中外医薬社 p200-219, 300-310, 383-384

予習：
標準放射線医学、内科学を読んで腹部単純 X 線撮影、新核医学テキストを読んで消化器の核医学検査の概要をつかんでおく（20 分）

復習：
腹部単純 X 線撮影および消化器の核医学検査について A4 半ページから 1 ページ以内でまとめる(20 分)

消化 34：消化管造影法

日時：10 月 15 日（木）　3 時限

担当者：井上　快児(放射線科)

内容：
1. 消化管造影検査の種類について列挙し、その適応や合併症、禁忌について説明できる。
2. 消化管造影剤の種類について列挙し、説明できる。
3. ★PS-02-08-02 消化器系で見られる症候について理解している。
4. ★PS-02-08-03 消化器系で行う検査方法について基本的事項を理解している。
5. ★PS-02-08-04 消化器系疾患に特異的な治療法ついて基本的事項を理解している。

6. ★PS-02-08-05 消化器系の疾患・病態について病因、疫学、症候、検査、診断、治療法を理解している。
7. ★PS-03-04-05 腫瘍の内視鏡検査・画像検査(エックス線、CT, MRI, PET・核医学、超音波等)の異常所見がわかり診断できる。
8. ★PS-03-04-14 主な消化器腫瘍の症候、診断、治療について理解している
9. ★CS-02-03-07 主要な臨床・画像検査(表 6)の目的と適応を理解し、解釈できる。

キーワード：

消化管
食道、胃、小腸、大腸、画像検査、胃癌、大腸癌、肉眼分類
消化管造影検査、種類、適応、合併症、禁忌、造影剤、食道アカラシア、胃癌、Crohn 病、潰瘍性大腸炎

教科書：

◆ 標準放射線医学（医学書院）第 7 版　p327-400

参考書：

◆ step 放射線科　p200-216

備考：

授業で行った小テストの解説を行う

予習：

上記の教科書の該当するページの画像所見に関する部分を重点的に読んでおく(30 分程度)

復習：

授業で行った小テストを復習し、シラバスの内容を説明できるようにする(20 分程度）

消化 35：病理-1（消化管の炎症性疾患）

日時：10 月 16 日（金）　1 時限

担当者：山口　浩(病理学)

内容：

消化管の炎症性疾患

1. 消化管の壁構造につき説明できる
2. 消化管における急性炎症と慢性炎症の違いを説明できる
3. 慢性胃炎の組織像を説明できる
4. 代表的な炎症性の腸疾患を列記し，その組織像を説明できる

キーワード：

消化管の基本構造，慢性胃炎，Helicobacter pylori，炎症性腸疾患
消化管の基本構造，慢性胃炎，Helicobacter pylori，炎症性腸疾患

予習：

（30 分） 消化管の壁構造，並びに各部位の組織像（被覆上皮の種類など）を復習しておく

復習：

各自，適宜行ってください.

消化 36：病理-2（消化管の腫瘍性疾患）

日時：10 月 16 日（金）　2 時限

担当者：山口　浩(病理学)

内容：

消化管の腫瘍性疾患

1. 消化管の壁構造につき説明できる
2. 各種腫瘍の発生母地につき説明できる

3. 食道，胃，大腸に発生する癌腫につき説明できる
4. 消化管に発生するカルチノイド，悪性リンパ腫，間葉系腫瘍につき説明できる
5. 消化器癌の転移様式につき説明できる

キーワード：

食道癌，胃癌，大腸癌，Gastrointestinal stromal tumor ＜ GIST ＞，消化管カルチノイド
食道癌，胃癌，大腸癌，Gastrointestinal stromal tumor ＜ GIST ＞，消化管 neuroendocrine tumor ＜ NET ＞，悪性リンパ腫

予習：

（30 分） 消化管の壁構造，並びに各部位の組織像（被覆上皮の種類など）を復習しておく

復習：

各自，適宜行ってください.

消化 37：肝の構造と機能

日時：10 月 19 日（月） 2 時限

担当者：富谷 智明(消化器内科・肝臓内科)

内容：

1. 肝の肉眼構造について理解し、説明できる。
2. 肝を構成する細胞の形態と機能を理解し、説明できる。
3. 肝の血行動態の特徴を理解し、説明できる。
4. ★PS-02-08-01) 肝の構造と機能を説明できる。
5. 肝臓の機能について理解し、説明できる。
6. 腸肝循環について理解し、説明できる。

キーワード：

肝区域、門脈、肝動脈、胆管、肝小葉、肝細胞、Kupffer 細胞、肝 macrophage、肝類洞内皮細胞、肝星細胞、ピット細胞、樹状細胞、胆管上皮細胞、肝類洞、Disse 腔、肝線維化、毛細血管化
肝の構造と機能
形状、腸肝循環、胆汁および胆汁分泌、総タンパク、タンパク分画、アルブミン、総ビリルビン、直接ビリルビン、コリンエステラーゼ、アンモニア、プロトロンビン時間

教科書：

◆ 内科学（朝倉書店）(第 11 版) p1033-p1035 医学書院内科診断学（医学書院）（第 3 版）p129-P131

予習：

教科書の当該ページを読んでおく（20 分）

復習：

肝機能検査について A4 版 1 ページ以内でまとめる（20 分）

消化 38：肝機能検査

日時：10 月 19 日（月） 3 時限

担当者：富谷 智明(消化器内科・肝臓内科)

内容：

★PS-02-08-03) 肝機能検査の意義を肝を構成する細胞の機能との関連で理解する。

1. 検体検査
    1) 肝壊死を反映する検査
    2) 肝予備能を反映する検査
        (1) 肝細胞機能（合成能，解毒排泄能）に関する検査
        (2) 肝血流に関する検査
        (3) 脾機能に関する検査

(4) 網内系機能に関する検査
(5) 類洞毛細血管化に関する検査
3) 胆道系酵素，ビリルビン
4) 腫瘍マーカー

ポイント：
1. 急性，慢性肝疾患の進展に伴う肝構成細胞の機能変化を説明できる。
2. 各血液検査の意義を，肝構成細胞の機能と肝血行動態との関連で説明できる。

キーワード：
ALT，ALT，アルブミン，コリンエステラーゼ，コレステロール，血液凝固因子，ビリルビン，ICG，血小板，ZTT，IgG，ヒアルロン酸，小葉内分布，血中半減期，γGTP，ALP，LAP，AFP，PIVKA-Ⅱ

教科書：
◆ 内科学（朝倉書店）(第 11 版) p1034-p1035 内科診断学（医学書院）（第 3 版）p179-P180

予習：
肝の構造と構成細胞の機能を学習する（20 分）。

復習：
教科書の該当箇所を通読する（30 分)。

消化 39：肝疾患特有の症候と病態（1）：門脈圧亢進、腹水と黄疸

日時：10 月 19 日（月） 4 時限

担当者：中山 伸朗(消化器内科・肝臓内科)

内容：
1. ★D-7-3-2 黄疸の発症機序と分類を理解し、鑑別法を説明できる。
2. 各疾患における黄疸の発症機構を、ビリルビン代謝との関連で説明できる。
3. 黄疸に関連した血液、尿検査所見を、ビリルビン代謝との関連で説明できる。
4. 門脈圧亢進症の発症機序を理解し、病態と診断方法を説明できる。
5. 腹壁血管怒張の病態について理解し、説明できる。
6. 腹水の発症機序について理解し、診断法と治療法について説明できる。
7. 漏出性腹水の鑑別診断を腹水の性状の差異の観点から説明できる。
8. 腹水貯留時に生じる内分泌環境の変化と，これに対する治療法を説明できる。

キーワード：
ビリルビン、グルクロン酸抱合、肝細胞、胆管、胆道系酵素、ウロビリノーゲン、腸肝循環、エンドトキシン、薬物性肝障害、胆石、胆道系腫瘍、Gilbert 症候群、Crigler-Najjar 症候群、Dubin-Johnson 症候群、Rotor 症候群、溶血性貧血、胆汁酸、Disse 腔、肝リンパ、腸リンパ、静脈圧、膠質浸透圧、アルブミン、血管透過性、漏出性腹水、滲出性腹水、特発性門脈圧亢進症、肝硬変、Budd-Chiari 症候群、肝外門脈閉塞症、癌性腹膜炎、スピロノラクト
黄疸、腹部膨隆、腹水、膨満
黄疸、{灰}白色便、腹壁血管怒張、腹水、特発性細菌性腹膜炎

教科書：
◆ 内科学(朝倉書店)(第 11 版)p1042-p1046、p1052-1057、p1123-1130

予習：
消化器系疾患特有の症候と病態、黄疸、腹壁血管怒張、腹水概要(20 分)

復習：
消化器系疾患特有の症候と病態について A4 半ページから 1 ページ以内でまとめる(20 分)

消化 40：肝疾患特有の症候と病態（2）：肝不全、肝性脳症

日時：10 月 19 日（月） 5 時限

担当者：中山　伸朗(消化器内科・肝臓内科)

内容：

1. 肝不全の病態を理解し、診断および治療法に関して説明できる。
2. 急性，慢性肝不全での病態の差を理解し、説明できる。
3. 肝不全時の感染症に関して、腸管と肝臓の臓器相関の観点から説明できる。
4. 肝性脳症の発症機序を理解し、診断および治療法に関して説明できる。
5. 肝性脳症の成立に関する多様な要因を説明できる。
6. 肝性脳症の誘因、増悪因子を説明できる。
7. 肝性脳症の昏睡度分類を JCS との関連を説明できる。
8. 高アンモニア血症、アミノ酸不均衡に対する治療法を、肝性脳症の成立機序との関連で説明できる。

キーワード：

肝硬変、劇症肝炎、門脈圧亢進症、門脈・体循環シャント、尿素サイクル、昏睡度分類、羽ばたき振戦、アンモニア、分枝鎖アミノ酸、芳香族アミノ酸、Fischer 比、脳波、偽性神経伝達物質、潜在性脳症、腸内細菌、特殊組成アミノ酸製剤、腸内殺菌腸内細菌、特発性細菌性腹膜炎（SBP）

肝硬変の合併症（肝性脳症）

肝不全、肝性脳症

教科書：

◆ 内科学(朝倉書店)(第 11 版)p1046-1052、p1090-p1104

参考書：

◆ 医学書院内科診断学第 3 版 p62、p278、p739-744

予習：

教科書の当該ページで学習する（20 分）

復習：

肝不全、肝性脳症の症候と病態について A4 半ページから 1 ページ以内でまとめる（20 分）

消化 41：急性肝炎，急性肝不全

日時：10 月 21 日（水） 6 時限

担当者：中山　伸朗(消化器内科・肝臓内科)

内容：

1. わが国における急性肝疾患の分類と診断基準を説明できる。
2. 急性肝疾患の病型毎に、成因、疫学及び予後を説明できる。
3. ★D-7-4-5 急性肝炎の定義と成因および近年の動向を説明できる。
4. ★D-7-4-5 急性肝不全および LOHF の概念、定義、診断および治療法について説明できる。
5. ★D-7-4-5 急性肝不全および LOHF の治療法を、急性肝不全、多臓器不全の病態との関連で説明できる。

キーワード：

急性肝炎、急性肝炎重症型、急性肝不全非昏睡型、急性肝不全急性型、急性肝不全亜急性型、LOHF、劇症肝炎、亜急性肝炎、HAV、HBV、薬物性、自己免疫性肝炎、急性肝不全、広汎肝壊死、肝類洞内凝固、肝再生、人工肝補助、肝移植

急性肝炎、慢性肝炎、急性肝不全

劇症肝炎、B 型肝炎ウイルスの再活性化、慢性肝炎、B 型肝炎、C 型肝炎

教科書：

◆ 内科学(朝倉書店)(第 11 版)p1057-p1074

参考書：

◆ 医学書院内科診断学第 3 版 p179-p181、p274-p280

予習：

急性肝炎と慢性肝炎、劇症肝炎の概要(20 分)

復習：

急性肝炎と劇症肝炎について A4 半ページから 1 ページ以内でまとめる（20 分）

消化 42：慢性肝炎，肝硬変

日時：10 月 22 日（木） 3 時限

担当者：川村　祐介(総セ 消化器・肝臓内科)

内容：

★PS-02-08　慢性肝疾患の病態を理解する。

1. 慢性肝炎について理解し、概説できる。
2. 肝硬変について理解し、概説できる。
3. 慢性肝炎・肝硬変の病因、病理、症候、診断と治療を概説できる。
4. 肝硬変の合併症（門脈圧亢進症、肝性脳症、肝癌）を概説できる。

キーワード：

HBV、HCV、慢性肝疾患、慢性肝炎、肝硬変、肝細胞癌、AST、ALT、アルブミン、コリンエステラーゼ、コレステロール、ビリルビン、ICG、血小板、ヒアルロン酸、腹部超音波検査、肝性脳症、浮腫、食道静脈瘤、Child-Pugh 分類

教科書：

◆ 内科学（朝倉書店）（第 12 版）III-209-218, 233-238

予習：

慢性肝炎、肝硬変の概要について以下の教科書を読んでおく(20 分)

復習：

肝硬変について A4　1 ページ以内でまとめる（20 分）

消化 43：ウイルス性肝炎-1

日時：10 月 22 日（木） 4 時限

担当者：内田　義人(消化器内科・肝臓内科)

内容：

肝炎ウイルス総論，A 型肝炎ウイルス（HAV），E 型肝炎ウイルス（HBV）

1. 肝炎ウイルスを列挙し，各ウイルスの遺伝子，感染形式，臨床経過の差異を説明できる。
2. HAV と HEV の感染形式，臨床経過の共通性と差異を説明できる。
3. HAV，HEV による急性肝疾患における成因の診断法を説明できる。
4. HAV と HEV の感染を予防する方法を説明できる。
5. 高齢化する日本における HAV 感染症の問題点を説明できる。
6. Zoonosis としての HEV 感染症の意義を説明できる。

キーワード：

糞口感染，1 本鎖 RNA ウイルス，急性肝炎，急性肝不全，人獣共通感染症
D-7-2，D-7-4-5　A 型・B 型・C 型・D 型・E 型肝炎
肝嚢胞、急性肝炎、A 型肝炎、B 型肝炎、C 型肝炎、D 型肝炎、E 型肝炎

教科書：

◆ 内科学（朝倉書店）　第 12 版　Ⅲ177-Ⅲ180

参考書：

◆ 内科診断学（医学書院）第 3 版　p179-p180

予習：
肝炎ウイルスの種類と糞口肝炎ウイルスの特徴(20 分)
復習：
HAV と HEV およびこれらの感染症の共通性と差異を箇条書きにしてまとめる（20 分）

消化 44：ウイルス性肝炎-2

日時：10 月 22 日（木） 5 時限
担当者：内田 義人(消化器内科・肝臓内科)
内容：
B 型肝炎ウイルス（HBV）
1. HBV のライフサイクルにおける cccDNA の意義を説明できる。
2. HBV に関連した各種血液検査マーカーを列挙し，その臨床的意義を説明できる。
3. HBV の感染形式とその予防法を説明できる。
4. HBV 感染者の自然経過を説明できる。
5. 抗ウイルス療法の目標と治療薬の作用を HBV のライフサイクルとの関連で説明できる。
6. HBV 再活性化の概念とこれによる肝炎の予防法を説明できる。

キーワード：
2 本鎖 DNA ウイルス，cccDNA，genotype，Peg-IFN，核酸アナログ，HBV 再活性化，急性肝不全，肝癌，universal vaccination
A 型・B 型・C 型・D 型・E 型肝炎
急性肝炎、劇症肝炎、慢性肝炎
教科書：
◆ 内科学（朝倉書店）第 12 版 Ⅲ177-Ⅲ180
参考書：
◆ 内科診断学（医学書院）第 3 版 p179-p180
備考：
予習：
HBV のウイルス学的特徴とその感染症の概要(20 分)
復習：
HBV 感染者の病期を各種ウイルスマーカーの推移との関連で表にして，その中で抗ウイルス療法の短期・長期目標を整理する（20 分）

消化 45：ウイルス性肝炎-3

日時：10 月 22 日（木） 6 時限
担当者：内田 義人(消化器内科・肝臓内科)
内容：
C 型肝炎ウイルス（HCV）
1. HCV のライフサイクルを抗ウイルス療法に用いる DAA との関連で説明できる。
2. HCV の感染形式とその歴史的変遷を説明できる。
3. HCV 感染者の自然経過を説明できる。
4. HCV 感染の診断法を説明できる。
5. わが国の肝癌における HCV 感染の重要性を説明できる。
6. わが国における肝癌撲滅に向けた政策を説明できる。

キーワード：
1 本鎖 RNA ウイルス，genotype，NS3/4A プロテアーゼ，NS5A 複製複合体，NS5B ポリメラーゼ，慢性肝炎，肝硬変，肝細胞癌，DAA，肝癌撲滅運動

D-7-2，D-7-4-5
急性肝炎，劇症肝炎，慢性肝炎

教科書：
◆ 内科学（朝倉書店）第 12 版　Ⅲ177-Ⅲ180

参考書：
◆ 内科診断学（医学書院）第 3 版　p179-p180

備考：
消化器内科・肝臓内科のテキストを参照

予習：
HCV のウイルス学的特徴とその感染症の概要(20 分)

復習：
我が国における肝癌の動向を HCV 感染症およびその抗ウイルス療法との関連でまとめる（20 分）

消化 46：肝疾患における IVR

日時：10 月 26 日（月）　1 時限

担当者：今井　幸紀(消化器内科・肝臓内科)

内容：
1. ★CS-02-04-16 インターベンショナルラジオロジーについて概要を理解している。
2. 原発性肝癌の画像所見を説明できる
3. 原発性肝癌の血管造影所見を説明できる。
4. 原発性肝癌のカテーテル治療について理解し、説明できる。
5. 胃静脈瘤の血行動態、治療について理解し、説明できる。

キーワード：
インターベンショナルラジオロジー(IVR)、肝細胞癌、TAE、TAI、TACE、thread ＆ streak sign、リピオドール
門脈圧亢進症、食道・胃静脈瘤、BRTO、TIPS、PSE

教科書：
◆ 内科学（朝倉書店）第 12 版　pⅢ49, pⅢ172-173, pⅢ243-248

参考書：
◆ 内科診断学（医学書院）第 3 版 p424-431

予習：
腹部血管の解剖を復習して、理解しておくこと。原発性肝癌、門脈圧亢進症、食道・胃静脈瘤について、上記教科書を読んでくること(30 分)

復習：
原発性肝癌の治療方針について A4 半ページから 1 ページ以内でまとめる（20 分）

消化 47：肝臓の感染症、門脈系の疾患

日時：10 月 26 日（月）　2 時限

担当者：今井　幸紀(消化器内科・肝臓内科)

内容：
1. 肝膿瘍について細菌性、アメーバ性の原因、感染経路、性状や画像検査の違いを学習し、説明できる。
2. 肝膿瘍の症候、診断と治療を説明できる。
3. 寄生虫性肝疾患について、日本住血吸虫症、肝吸虫症、肝包虫症の各感染症の原因、感染経路、検査法を学習し、説明できる。

4. 門脈圧亢進症について、特発性門脈圧亢進症、肝外門脈閉塞症、Budd-Chiari 症候群の各疾患の原因、病態、合併症等について学習し、説明できる。

キーワード：

肝膿瘍、細菌性・アメーバ性肝膿瘍、寄生虫性肝疾患、肝包虫症、日本住血吸虫症、門脈圧亢進症、特発性門脈圧亢進症、肝外門脈閉塞症、Budd-Chiari 症候群

教科書：

◆ 朝倉内科学第 12 版（朝倉書店）PⅢ191-195, pⅢ252-261, pⅢ265-267

参考書：

◆ 内科診断学第３版（医学書院）P526-534，P564-569

予習：

肝膿瘍、寄生虫性肝疾患、門脈系の疾患、門脈圧亢進症、Budd-Chiari 症候群について上記教科書を読んでくる（20 分間）

復習：

肝膿瘍、寄生虫性肝疾患、門脈系の疾患についてＡ４半ページから１ページ以内でまとめる（20 分間）

消化 48：腹部 CT，MRI，血管造影検査

日時：10 月 27 日（火）　1 時限

担当者：山本　裕也(放射線科)

内容：

腹部の各種断層映像と血管造影検査

★PS-02-08-03 消化器系で行う検査方法について基本的事項を理解している。

★PS-02-08-05 消化器系の疾患・病態について病因、疫学、症候、検査、診断、治療法を理解している。

1. 画像の読み方を症例と共に示し，各画像法の特徴と使い分けを理解する。
2. 上腹部 CT から正常解剖が同定できる。
3. 血管の解剖を CT、MRI、血管造影と対比して話すことができる。
4. CT での異常濃度値は何を意味しているかがわかる。
5. MRI での異常信号は何を意味しているかがわかる。代表的な疾患について述べることができる。
6. 血管造影の施行意義と適応について述べることができる。

キーワード：

CT 検査、MRI 検査、血管造影検査

大項目：画像検査　中項目：血管造影検査、その他の造影検査　小項目：種類、適応、禁忌

予習：

＞「胸部の CT」「腹部の MRI」(いずれもメディカル・サイエンス・インターナショナル)の総論部分を読んでおく（20 分）。

復習：

各種画像診断法の適応と優先順位について A4 半ページから 1 ページ以内でまとめる（20 分）

消化 49：腹部腫瘤，肝脾腫

日時：10 月 27 日（火）　3 時限

担当者：菅原　通子(消化器内科・肝臓内科)

内容：

1. 鼓腸について腹部診察をきちんと行い、画像検査と併せ、診断し、病態を説明できる。
2. 腹部膨隆（腹水を含む）・膨満・腫瘤について、腹部診察を主に画像検査を併せ、診断し、各種腹部内に腫瘤や膨満を来たす疾患を鑑別していく。
3. 肝腫大について感染性、腫瘍性、のう胞性疾患を鑑別するため、採血検査、画像検査を行い、その結果を説明できる。

4. 肝腫大を来たす疾患を列挙し、その病態生理を説明できる。
5. 肝腫大のある患者における医療面接、診察と診断の要点を説明できる。
6. 脾腫について、門脈圧亢進症に伴う症状として、病態を説明できる。

キーワード：
腹部膨隆、腹部腫瘤、腹水、膨満、肝腫大、脾腫

教科書：
◆ 内科学第 12 版（朝倉書店）、Ⅰ-P147～151、Ⅰ-P155～160

参考書：
◆ 内科診断学第 3 版（医学書院）P554～557，P564～575

予習：
消化器系疾患特有の症候と病態、鼓腸、腹部腫隆、肝腫大、脾腫の（20 分間）

復習：
消化器系疾患特有の症候と病態についてＡ４半ページから 1 ページ以内でまとめる（20 分間）

消化 50：胆道の画像検査と形態異常

日時：10 月 27 日（火） 4 時限

担当者：良沢 昭銘(国セ 消化器内科)

内容：

1. 胆道＜胆嚢・胆管＞造影検査について理解し、説明できる。
2. 経皮経肝胆道造影検査＜ PTC ＞について理解し、説明できる。
3. 内視鏡的逆行性胆管膵管造影検査＜ ERCP ＞について理解し、説明できる。
4. 先天性胆道拡張症について理解し、説明できる。
5. ★D-7-4-4 先天性胆道拡張症と膵・胆管合流異常症を概説できる。
6. 膵・胆管合流異常症について理解し、説明できる。

キーワード：
消化器系疾患、画像検査、先天性胆道拡張症、膵・胆管合流異常症
種類、適応、禁忌、造影剤、合併症、胆道＜胆嚢・胆管＞造影検査、経皮経肝胆道造影検査＜ PTC ＞、内視鏡的逆行性胆管膵管造影検査＜ ERCP ＞、先天性胆道拡張症、膵・胆管合流異常症

教科書：
◆ 内科学（朝倉書店）p873， p1148-1150， p1164-1166

参考書：
◆ 内科診断学第 3 版（医学書院）p179-180， p199， p280， p897-899

予習：
消化管造影検査、種類、適応、禁忌、造影剤、合併症、胆道＜胆嚢・胆管＞造影検査、経皮経肝胆道造影検査＜ PTC ＞、内視鏡的逆行性胆管膵管造影検査＜ ERCP ＞の概要(20 分)
胆道の形態異常、先天性胆道拡張症、膵・胆管合流異常症の概要(20 分)

復習：
胆道画像検査、胆道の形態異常について A4 半ページから 1 ページ以内でまとめる（20 分）

消化 51：自己免疫性肝疾患

日時：10 月 29 日（木） 2 時限

担当者：川村 祐介(総セ 消化器・肝臓内科)

内容：
★PS-02-08 自己免疫性肝疾患における診断・治療について理解する

1. 自己免疫性肝炎について検査・組織所見の特徴と診断および治療を概説できる。
2. 原発性胆汁性胆管炎について検査・組織所見の特徴と診断、治療および経過を概説できる。

3. 原発性胆汁性胆管炎と原発性硬化性胆管炎の症候、診断、治療、経過と予後を概説できる。

キーワード：

自己免疫性肝炎、原発性胆汁性胆管炎、原発性硬化性胆管炎、抗核抗体、抗平滑筋抗体、抗ミトコンドリア抗体、IgG、IgM、非化膿性破壊性胆管炎、慢性甲状腺炎、シェーグレン症候群、副腎皮質ステロイド、ウルソ、アザチオプリン、肝移植、骨粗しょう症、慢性炎症性腸疾患

教科書：

◆ 内科学（朝倉書店）（第 12 版）III-226-233

予習：

肝・胆道の炎症疾患、原発性胆汁性肝硬変＜原発性胆汁性胆管炎＞、自己免疫性肝炎、原発性硬化性胆管炎の概要(20 分)

復習：

自己免疫性肝疾患について A4 半ページから 1 ページ以内でまとめる（20 分）

消化 52：代謝性肝疾患

日時：10 月 29 日（木） 3 時限

担当者：川村　祐介(総セ 消化器・肝臓内科)

内容：

★PS-02-08　代謝性肝疾患の病態を理解する。

1. 脂肪肝の病態と診断について概説できる。
2. アルコール関連肝疾患を概説できる。
3. アルコール性肝炎の特徴を概説できる。
4. 代謝機能障害関連脂肪性肝疾患を概説できる。
5. 先天性のビリルビン代謝異常について概説できる。
6. 鉄代謝を理解して、ヘモクロマトーシスについて概説できる。
7. 銅代謝を理解して、Wilson 病について概説できる。
8. 薬物性肝障害の特徴と診断について概説できる。

キーワード：

アルコール性肝疾患・代謝機能障害アルコール関連肝疾患・肝線維症・肝硬変、アルコール性肝炎、代謝機能障害関連脂肪性肝疾患、代謝機能障害関連脂肪肝炎＜ Metabolic Dysfunction Associated Steatohepatitis; MASH ＞、フェリチン、セルロプラスミン、薬物感受性試験＜ DLST ＞

脂肪性肝疾患、アルコール性肝障害

ビリルビン代謝、Gilbert 症候群、Dubin-Johnson 症候群、Rotor 症候群、ヘモクロマトーシス、Wilson 病

教科書：

◆ 内科学（朝倉書店）（第 12 版）III-223-226，209-218, 233-238

予習：

脂肪肝、アルコール性肝障害、非アルコール性脂肪性肝疾患、ビリルビン代謝の異常、ヘモクロマトーシス、Wilson 病、薬物性肝障害の概要(20 分)

復習：

代謝性肝疾患について A4 半ページから 1 ページ以内でまとめる（20 分）

消化 53：肝臓腫瘍(1)　総論

日時：11 月 2 日（月） 2 時限

担当者：今井　幸紀(消化器内科・肝臓内科)

内容：

1. 肝嚢胞について理解し、説明できる。
2. 肝血管腫について理解し、説明できる。

3. 原発性肝癌、転移性肝癌の病因、病理所見、症候、診断と治療を説明できる。
4. 肝細胞癌の治療アルゴリズムについて説明できる。

キーワード：
肝細胞癌、肝内胆管癌、転移性肝癌、肝血管腫、肝嚢胞、肝切除術、ラジオ波焼灼術、TACE、分子標的薬、免疫チェックポイント阻害薬、肝移植

教科書：
◆ 内科学（朝倉書店）第 12 版 pⅢ243-252

参考書：
◆ 内科診断学(医学書院)第 3 版 p564-p569

予習：
肝細胞癌、転移性肝癌、肝血管腫、肝嚢胞について上記教科書で理解する(30 分)

復習：
肝臓腫瘍について A4 半ページから 1 ページ以内でまとめる（20 分）

消化 54：肝臓腫瘍(2)　外科的治療

日時：11 月 2 日（月）　3 時限

担当者：合川　公康(国セ 消化器外科)

内容：
肝腫瘍に対する手術適応、術前肝機能評価、手術方法について理解する
1. 外科的切除の対象となる主な肝腫瘍を理解する。
2. 肝切除術における術前検査（耐術評価）について理解する。
3. 肝切除術の術式について理解する。

キーワード：
肝細胞癌、肝内胆管癌、原発性肝癌、転移性肝癌、肝機能検査、肝切除術

教科書：
◆ 内科学（朝倉書店）第 11 版

参考書：
◆ 原発性肝癌取扱い規約第６版 p8-p16 肝癌診療ガイドライン p12-p16,p74-p86

予習：
肝臓の解剖について理解しておく（１０分）

復習：
肝細胞癌、肝内胆管癌、転移性肝癌の鑑別について A4　1 ページ以内でまとめる。
（１５分）肝予備能検査について A4 半ページでまとめる。
主な肝切除術について作図を行う。

消化 55：肝移植

日時：11 月 2 日（月）　4 時限

担当者：内田　義人(消化器内科・肝臓内科)

内容：
生体，脳死肝移植
1. わが国における生体，脳死肝移植の歴史的変遷を説明できる。
2. わが国と海外の肝移植の実態の差異を説明できる。
3. 肝移植の適応疾患を説明できる。
4. 生体，脳死肝移植におけるドナーの条件を説明できる。
5. わが国における肝移植医療の問題点を説明できる。

キーワード：
生体肝移植，脳死肝移植，ドナー，レシピエント，改正臓器移植法，MELD スコア
F-2-12
総論　Ⅸ.治療　5 臓器・組織・細胞移植，人工臓器，再生医療　A.移植の種類と適応，提供者＜ドナー＞と被提供者＜レシピエント＞

教科書：
◆ 内科学（朝倉書店）第 12 版　Ⅲ183-Ⅲ189

予習：
運転免許証などの臓器提供意思表示カードを確認した上で，肝移植の歴史的変遷を教科書で学ぶ（15 分）

復習：
自分が臓器提供意思表示カードに「記入した」ないしは「記入しなかった」理由との関連でわが国の移植医療の問題点をまとめる。（15 分）

消化 56：病理-3（肝疾患-1）

日時：11 月 4 日（水）　3 時限
担当者：本間　琢(国セ 病理診断科)
内容：

1. ★D-7-1-6 肝の正常構造を機能と関連させて説明できる．
2. ★D-7-4-5-2，3 肝硬変と肝不全について概要を説明できる．
3. 肝に炎症を起こす原因について整理して列挙できる．
4. ウイルス性肝炎における壊死炎症反応とその転機を説明できる．
5. ★D-7-4-5-8 肝炎と原発性胆汁性胆管炎（原発性胆汁性肝硬変），原発性硬化性胆管炎の病態の違いを説明できる．
6. ★D-7-4-5-7 ウイルス性肝炎以外の肝感染症と肝膿瘍について説明できる．

キーワード：
構造と機能，肝硬変，急性肝炎，慢性肝炎，劇症肝炎，原発性胆汁性胆管炎（原発性胆汁性肝硬変），原発性硬化性胆管炎，肝膿瘍

参考書：
◆ ロビンス基礎病理学 原書 9 版（丸善出版 2014）p715～p764

予習：
急性肝炎，慢性肝炎，肝硬変の病理学的変化の概要（30 分）

復習：
肝炎における壊死炎症反応から肝硬変に至る病理学的変化について，A4 半ページから 1 ページ以内でまとめる（20 分）

消化 57：病理-4（肝疾患-2）

日時：11 月 4 日（水）　4 時限
担当者：本間　琢(国セ 病理診断科)
内容：

1. ★D-7-1-8，D-7-3-2-1 肝胆汁うっ滞の病理形態を正常構造や原因と関連させて説明できる．
2. 肝組織に物質蓄積を引き起こす代謝異常について例を挙げて説明できる．
3. ★D-7-4-5-4 肝の循環障害について，正常構造と関連させて説明することができる．
4. 肝にみられる主な腫瘍を列挙することができる．
5. ★D-7-4-8-9 肝細胞癌と肝内胆管癌の病理学的相違を説明できる．
6. ★D-7-2-5 肝疾患の診断における生検診断の役割を述べることができる．

キーワード：
胆汁，黄疸，門脈圧亢進症，原発性肝癌，生検
ビリルビン代謝異常，脂肪肝，ヘモクロマトーシス，Wilson 病，門脈圧亢進症，肝血管腫，肝細胞癌，肝内胆管癌，転移性肝癌

参考書：
◆ ロビンス基礎病理学 原書 9 版（丸善出版 2014）p715～p764

予習：
肝胆汁うっ滞，肝の循環障害，肝に生じる腫瘍の概要（30 分）

復習：
肝胆汁うっ滞を生じる病態･機序について整理し，それらの間の病理所見の相違を含めて A4 半ページから 1 ページ以内でまとめる（20 分）

消化 58：胆石症、胆嚢炎

日時：11 月 9 日（月） 4 時限

担当者：篠塚　望(消化器・一般外科)

内容：

1. 胆道の構造について理解し、説明できる。
2. 胆汁および胆汁分泌について理解し、説明できる。
3. ★D-7-1 胆汁の作用と胆嚢収縮の調節機序を説明できる。
4. 胆石症について理解し、説明できる。
5. ★D-7-4-4 胆石症の病因、症候、診断と治療を説明できる。
6. 胆嚢炎について理解し、説明できる。
7. ★D-7-4-4 胆嚢炎と胆管炎の病因、病態生理、症候、診断、合併症と治療を説明できる。
8. 胆管炎について理解し、説明できる。

キーワード：
胆石症、胆嚢炎、胆管炎 、Charcot3 徴、Reynolds5 徴、急性閉塞性化膿性胆管炎

教科書：
◆ 内科学（朝倉書店）p1141， p1150-1157

参考書：
◆ 内科診断学第 3 版（医学書院）p274-276，p459-467， p549-553， p605-608， p602，p789-790，p897-899， p906-908

予習：
胆石症、胆嚢炎、胆管炎の概要(20 分)

復習：
胆石症、胆嚢炎について A4 半ページから 1 ページ以内でまとめる（20 分）

消化 59：胆道腫瘍

日時：11 月 9 日（月） 5 時限

担当者：岡田　克也(国セ 消化器外科)

内容：
胆道癌の手術適応と手術方法について理解し説明できることを目的とする。

1. 胆道癌の診断（解剖学的理解を中心）
2. 胆道癌の治療（手術選択と手術方法を理解する）
3. 胆道癌の治療成績について理解する。

キーワード：
肝門部領域胆管癌、遠位胆管癌、胆嚢癌、十二指腸乳頭部癌、膵頭十二指腸切除術、拡大肝葉切除術

教科書：
◆ 内科学（朝倉書店）p1167-1175
参考書：
◆ 胆道癌取扱い規約第 7 版 p3-p40 胆道癌診療ガイドライン改訂第 3 版 p12-p21
予習：
胆道腫瘍の分類（良悪性)、肝門部領域胆管癌、遠位胆管癌、胆嚢癌、十二指腸乳頭部癌、胆道癌の予後、閉塞性黄疸(20 分)
復習：
胆道腫瘍（主に胆道癌）について A4 半ページから 1 ページ以内でまとめる（20 分）

消化 60：膵癌

日時：11 月 4 日（水） 2 時限
担当者：小野 宏晃(国セ 消化器外科)
内容：
膵癌は我が国の癌の中で増加傾向にある癌である。膵癌がなぜ予後不良であるかを、膵臓の解剖生理、膵癌のバイオロジーから理解し、膵癌診療の大まかな流れを把握する。
1. 膵癌について理解し、説明できる。
2. ★D-7-4-8 膵癌の病理所見、症候、診断と治療を説明できる。

キーワード：
膵癌
教科書：
◆ 内科学（朝倉書店）p1193-1200
参考書：
◆ 膵癌診療ガイドライン 2016 年版 - 日本膵臓学会
◆ 内科診断学第 3 版（医学書院）p276-280
予習：
膵臓の解剖生理、膵癌の概要(20 分)
復習：
膵癌について A4 半ページから 1 ページ以内でまとめる（20 分）

消化 61：膵癌以外の膵腫瘍

日時：11 月 16 日（月） 4 時限
担当者：松原 三郎(総セ 消化器・肝臓内科)
内容：
1. 膵癌以外の膵腫瘍について概説できる。
2. 嚢胞性膵腫瘍について理解し、説明できる。
3. 膵神経内分泌腫瘍について理解し、説明できる。

キーワード：
嚢胞性膵腫瘍、膵管内乳頭粘液性腫瘍＜ IPMN ＞、粘液性嚢胞腫瘍＜ MCN ＞、膵神経内分泌腫瘍、インスリノーマ、グルカゴノーマ、ガストリノーマ＜ Zollinger-Ellison 症候群＞、WDHA 症候群
教科書：
◆ 内科学（朝倉書店）p885-888， p1024， p1189-1193， p1200-1202
参考書：
◆ 内科診断学第 3 版（医学書院）p217-225， 231-236， p393-399， p576-584
予習：
嚢胞性膵腫瘍、膵神経内分泌腫瘍の概要(20 分)

復習：
膵癌以外の膵腫瘍について A4 半ページから 1 ページ以内でまとめる（20 分）

消化 62：急性膵炎

日時：11 月 12 日（木） 4 時限
担当者：谷坂　優樹(国セ 消化器内科)
内容：

1. ★PS-02-08-01) 膵の構造について理解し、説明できる。
2. ★PS-02-08-02) 急性膵炎の症状について理解し、説明できる。
3. ★PS-02-08-01) 膵外分泌系の構造と膵液の作用を説明できる。
4. ★PS-02-08-03) 急性膵炎で行う画像検査について説明できる。
5. ★PS-02-08-01, PS-02-08-05) 急性膵炎（アルコール性、胆石性、特発性）の病態生理、診断と治療を説明できる。

キーワード：
急性膵炎、アルコール性、胆石性、特発性
重症急性膵炎、被包化膵臓壊死＜ WON ＞、仮性嚢胞
教科書：
◆ 内科学（朝倉書店）p1141-1143， p1176-1180
参考書：
◆ 内科診断学第 3 版（医学書院）p490-496， p549-553， p627-634， p731-738
予習：
急性膵炎の概要(20 分)
復習：
急性膵炎について A4 半ページから 1 ページ以内でまとめる（20 分）

消化 63：慢性膵炎

日時：11 月 12 日（木） 3 時限
担当者：水出　雅文(国セ 消化器内科)
内容：

1. ★PS-02-08-05) 慢性膵炎(アルコール性及び特発性)・膵石症の病態生理・症候・診断・合併症・治療について理解し、説明できる。
2. ★PS-02-08-05) 自己免疫性膵炎の病態生理・症候・診断・合併症・治療について理解し、説明できる。

キーワード：
慢性膵炎・膵石症、アルコール性、特発性、自己免疫性膵炎
教科書：
◆ 内科学（朝倉書店）p1141-1143， p1162-1163， p1180-1186， p1186-1188， p1293-1295
参考書：
◆ 内科診断学第 3 版（医学書院）p576-584
予習：
慢性膵疾患、慢性膵炎・膵石症、自己免疫性膵炎の概要(20 分)
復習：
慢性膵疾患について A4 半ページから 1 ページ以内でまとめる（20 分）

消化 64：病理-5（胆道疾患）

日時：11 月 18 日（水）　2 時限

担当者：本間　琢(国セ 病理診断科)

内容：

1. 肝外胆道系の基本構造、組織について概説できる。
2. 胆嚢、肝外胆管系の発生異常について概説できる。
3. ★D-7-4-4 胆石症の病因、症候、診断を説明できる。
4. ★D-7-4-4 胆嚢炎と胆管炎の病因、病態生理、症候、診断を説明できる。
5. ★D-7-4-4 胆嚢ポリープを概説できる。
6. ★D-7-4-4 先天性胆道拡張症と膵・胆管合流異常症を概説できる。
7. ★D-7-4-8 胆嚢・胆管癌の病理、症候を説明できる。

キーワード：

膵・胆管合流異常症、胆石症、胆嚢炎、胆管炎、胆嚢ポリープ、先天性胆道拡張症、胆嚢腺筋症、胆嚢腺筋腫症、胆嚢腺腫、胆嚢癌、胆管癌

教科書：

◆ 改訂第 2 版カラーイラストで学ぶ集中講義病理学（MEDICAL VIEW）p226-p228、p230-232

参考書：

◆ ロビンス基礎病理学 原書 9 版（丸善出版）p745、p758-p763

予習：

教科書指定ページを読む（20 分）

復習：

胆嚢に生じる腫瘍（ポリープ、腺腫、癌）について A4 1 ページ以内でまとめる（20 分）

消化 65：病理-6（膵疾患）

日時：11 月 18 日（水）　3 時限

担当者：山口　浩(病理学)

内容：

膵疾患

1. 膵の機能と関連づけた解剖学的事項，組織学的事項を説明できる．
2. 急性膵炎，慢性膵炎，自己免疫性膵炎について病理学的特徴を説明できる．
3. 膵の基本的な組織構築と結び付けて代表的な膵腫瘍を挙げ，その病理学的特徴を説明出来る(浸潤性膵管癌，膵管内乳頭粘液性腫瘍，粘液性嚢胞腫瘍，漿液性嚢胞腫瘍，腺房細胞癌，神経内分泌腫瘍，Solid-pseudopapillary neoplasm).

キーワード：

急性膵炎，慢性膵炎，膵癌，膵嚢胞性腫瘍，膵神経内分泌腫瘍

予習：

（40 分） 膵の解剖学的事項（位置や胆管・十二指腸との関係など），外分泌・内分泌臓器としての役割，正常な組織像につき予習しておく

復習：

各自，適宜行ってください．

消化 66：小児の消化器疾患　下痢、嘔吐、輸液療法

日時：12 月 22 日（火）　4 時限

担当者：沼倉　周彦(ゲノム医療科)

内容：

1. 小児の消化器症状の特徴について説明できる。

1) 嘔吐
2) 下痢
3) 腹痛

2. 急性胃腸炎について説明できる。
   1) ウィルス性胃腸炎
   2) 細菌性胃腸炎
3. 細菌性食中毒における感染型と毒素型の違いを理解し説明できる。
4. 小児における脱水症の診断・治療について理解し説明できる。
5. 胎便性腹膜炎について理解し説明できる。
6. 新生児壊死性腸炎について理解し説明できる。
7. 乳児難治性下痢症について理解し説明できる。

キーワード：

ウィルス性胃腸炎、ノロウィルス、ロタウィルス、細菌性胃腸炎、感染型、毒素型、脱 水症、溶血性尿毒素症候群、乳児難治性下痢症、補液療法、初期輸液、維持輸液
乳児下痢症、吸収不良症候群

教科書：

◆ 小児科学（文光堂）第 10 版　p728-p732，p738-p751

参考書：

◆ 小児消化器肝臓病学（診断と治療社）p123 p126，p240 p247

予習：

教科書を読む（20　分）

復習：

小児の脱水症の補液療法について A4 半ページから 1 ページ以内でまとめる（20 分）

消化 67：小児の消化器疾患　通過障害、肝・胆道系疾患

日時：12 月 22 日（火）　5 時限

担当者：沼倉　周彦(ゲノム医療科)

内容：

1. 先天性消化管閉鎖・狭窄症について理解し説明できる。
2. 肥厚性幽門狭窄症について理解し説明できる。
3. Hirschsprung 病について理解し説明できる。
4. 腸重積症について理解し説明できる。
5. 消化管異物について理解し説明できる。
6. 黄疸の成因について説明できる。
7. ビリルビン代謝異常症についてについて理解し説明できる。

キーワード：

腸閉塞、麻痺性イレウス、消化管異物、先天性食道閉鎖、肥厚性幽門狭窄症、先天性十二指腸閉鎖・狭窄症、胎便性腹膜炎、腸回転異常症、Hirschsprung 病、新生児壊死性腸炎、腸重積症、鎖肛、新生児黄疸、体質性黄疸、ウィルソン病

教科書：

◆ 小児科学（文光堂）第 10 版　p728-p732，p733-p738、p744-p752

参考書：

◆ 小児消化器肝臓病学（診断と治療社）p217 p239

予習：

教科書を読む（20 分）

復習：

肥厚性幽門狭窄症の診断治療について A4 半ページから 1 ページ以内でまとめる（20 分）

消化 68：オリエンテーション、小児外科-1（食道，胃，小腸疾患）

日時：12 月 22 日（火）　6 時限

担当者：鈴木　啓介(小児外科)

内容：

1. 食道閉鎖症の病型、診断法、病態、治療法を説明できる。
2. 先天性腸閉鎖症の病型、診断法、病態、治療法を説明できる。
3. 肥厚性幽門狭窄症の病態、診断法、治療法を説明できる。
4. 新生児胃破裂の特徴、病態、治療法を説明できる。
5. 胃食道逆流症の病態、診断法、治療法を説明できる。

キーワード：

胃、食道、十二指腸、空腸
食道閉鎖症、新生児胃穿孔・破裂、肥厚性幽門狭窄症、先天性十二指腸閉鎖・狭窄症、先天性小腸狭窄・閉鎖症、胃食道逆流症

参考書：

◆ 標準小児外科学(医学書院)(第 8 版) p147-150、p159-161、p165-167、p169-171、p218-225

予習：

標準小児外科学(医学書院)(第 8 版) 先天性食道閉鎖症 p147-150、新生児胃穿孔 p165-167、肥厚性幽門狭窄症 p169-171、先天性十二指腸閉鎖・狭窄症、先天性小腸狭窄・閉鎖症 p218-225 (20 分)

復習：

授業内容を A4 一枚にまとめる（20 分）

消化 69：小児外科-2（肝，胆，膵疾患）

日時：1 月 12 日（火）　3 時限

担当者：田中　裕次郎(小児外科)

内容：

1. 肝臓，胆嚢，膵臓の発生の概略が説明できる。
2. 胆道閉鎖症の病型、診断法、病態、治療法、合併症を説明できる。
3. 先天性胆道拡張症と膵・胆管合流異常症の病型、診断法、病態、治療法を説明できる。
4. 臍ヘルニア、臍帯ヘルニア、腹壁破裂病態の診断法、治療法を説明できる。
5. 横隔膜ヘルニアの病態、診断法、治療法を説明できる。
6. 鼠経ヘルニアについて説明できる。

キーワード：

肝臓、胆嚢、膵臓
胆道閉鎖症、先天性胆道拡張症、膵・胆管合流異常症、臍帯ヘルニア、腹壁破裂、横隔膜ヘルニア、臍ヘルニア、鼠経ヘルニア

参考書：

◆ 標準小児外科学(医学書院)(第 8 版) p244-249、p249-253、p272-277、p279-284、p154-159

予習：

標準小児外科学(医学書院)(第 8 版) 胆道閉鎖症 p244-249、先天性胆道拡張症、膵・胆管合流異常症 p249-253、臍帯ヘルニア、腹壁破裂、臍ヘルニア p272-277、横隔膜ヘルニア p154-159 (20 分)

復習：

小児外科領域の肝・胆・膵疾患、腹壁、横隔膜疾患について A4 1 ページ以内でまとめる（20 分）

消化 70：小児外科-3（大腸，肛門疾患）

日時：1 月 12 日（火）　4 時限

担当者：田中　裕次郎(小児外科)

内容：

キーワード：

大腸、肛門

Hirschsprung 病＜先天性巨大結腸証 腸管無神経症＞、腸重積症、鎖肛、肛門周囲膿瘍・痔瘻・裂肛

参考書：

◆ 標準小児外科学(医学書院)(第 7 版)　p201-208、p182-184、p233-242、p231-233

予習：

標準小児外科学(医学書院)(第 7 版)Hirschsprung 病＜先天性巨大結腸証 腸管無神経症＞ p201-208、腸重積症 p182-184、鎖肛 p233-242、肛門周囲膿瘍・痔瘻・裂肛 p231-233、(20 分)

復習：

小児外科領域の大腸，肛門疾患について A4 半ページから 1 ページ以内でまとめる（20 分）